



2019年6月5日

各 位

会 社 名 イメージ情報開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 代永 衛
(コード: 3803、JASDAQグロース)
問 合 せ 先 常務取締役経営管理室長 佐藤 将夫
(TEL:03-5217-7811)

中期経営計画の提出等について

当社は、2020年3月期～平成2022年3月期に係る中期経営計画を策定いたしましたので、当該中期経営計画を記載した資料を提出いたします。

なお、以下のとおり、当該中期経営計画について、アナリスト向け説明会を開催いたします。

開 催 日 時	2019年6月14日 10:00～11:30
開 催 場 所	本社1階会場(東京都千代田区神田猿樂町2-4-11 犬塚ビル)

なお、当該資料について、当社のホームページに掲載いたします。

U R L	http://www.image-inf.co.jp/
掲 載 日	2019年6月5日

【添付資料】

2020年3月期～2022年3月期 中期経営計画

2020年3月期～2022年3月期 中期経営計画

1. 今後3か年の中期経営計画

(1) 当中期経営計画提出時点における前事業年度の総括(計画の達成状況、成果及び課題)

当社グループの主要な事業領域である情報サービス業界においては、全ての業種においてIT投資に対し積極的な取り組みがみられますが、利益率の低迷は依然続いております。

当社はグループの多角化に取り組むため、持株会社への移行を行い、機動的な事業再編や柔軟性の確保ならびに各事業の責任と権限を明確にすることで、当社グループ全体の企業価値の最大化を目指しております。

このような環境の中、当連結会計年度において、オープンソースソフトウェアを活用した新たなビジネスを開始し、また外部人材リソースの活用等を実施しましたが、売上高は702,048千円(前期比13.9%減)となりました。

利益面におきましては、販売費及び一般管理費の圧縮に努めましたが、売上高の減少の影響から営業損失は47,215千円(前期は営業利益5,759千円)、経常損失は56,287千円(前期は経常利益6,901千円)となりました。

当社は、過年度の決算において不適切な会計処理の指摘を外部から受け、第三者委員会を設置し、2019年3月8日に訂正有価証券報告書等を提出、開示いたしました。当処理のため特別調査費用37,884千円、連結子会社から除外した株式会社アイデポルテに係る関係会社整理損17,431千円及び投資有価証券評価損22,233千円を特別損失に計上したこと等から、親会社株主に帰属する当期純損失は156,998千円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失252,502千円)となりました。

このような状況において、当社グループは、不適切な会計処理への再発防止策を図るとともに、これまで培ってまいりましたIT活用による提携企業へのコンサルティング機能をさらに高め、先進的マーケティングソリューションの提供等によるプラットフォームビジネスへの構築により、新たなサービスの創造とマーケットの開拓、さらに新たな異業種企業との提携による収益創出事業の展開を図ってまいります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔コンサルティング／設計／構築〕

企業システムのコンサルティング及び設計、開発の業務受託等につきましては、外部人材リソースを活用した受注案件の獲得に努めましたが、株式会社アイデポルテを連結子会社から除外したこと等により、売上高は380,170千円(前期比25.5%減)、セグメント利益は29,195千円(前期比7.8%減)となりました。

〔運用／保守〕

企業システムの運用及び保守の業務受託につきましては、前期からの継続した受注とシステム構築案件の保守契約が堅調に推移したことにより、売上高は106,432千円(前期比3.9%増)、セグメント利益は39,973千円(前期比18.1%増)となりました。

〔商品販売〕

商品販売につきましては、連結子会社である株式会社ヴァージンメディカルによる化粧品販売により、売上高は49,582千円(前期比51.6%増)となり、セグメント利益は393千円(前期はセグメント損失1,772千円)となりました。

〔BPO／サービス〕

BPO(業務アウトソーシング)及び決済等各種サービスの提供につきましては、継続的な取引による売上を確保し、売上高は165,862千円(前期比2.3%減)、セグメント損失は4,936千円(前期はセグメント利益35,770千円)となりました。

(2) 中期経営計画の概要及び策定の背景

当社グループは、「変革を求める企業・団体に対し、先進的ITを駆使した独創的サービスや機能の提供を通じ社会に貢献する」を理念に掲げ、長期にわたり金融・製造業等企業や大手商店街、商工会議所を通じた地域の活性化に努めてまいりました。

激動する経済社会の下、顧客企業に対する「先進的ビジネスモデルの提供」を目的に既存の中核技術をベースに他分野の知識や技術を組み合わせた多岐にわたるビジネスの「プラットフォーム」の構築を進めております。

当社グループは、ヒト/モノ/カネ/情報をネットワーク化し、組織やサービスを束ね、顧客企業と共に持続的成長を目指した「プラットフォームビジネス」を最大の経営テーマとしております。

当社グループは、2017年10月に会社分割による持株会社体制への移行により、事業の多角化を推進し、機動的な事業再編や柔軟性を確保しました。

今後も引き続きグループ企業間の相乗効果と外部人材リソースの活用によるシステム構築受注拡大を図ります。事業の多角化や機動的な事業再編や柔軟性を確保することで、2020年3月期通期において売上高 774 百万円(前期比 10.3%増)、営業損失1百万円(前期は営業損失 47 百万円)、経常損失1百万円(前期は経常損失 56 百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は 34 百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失 156 百万円)を見込んでおります。

今後さらなるマーケティング戦略の強化を図り、新たな事業領域を開拓することにより、収益性の向上をはかり、加えて貸倒引当金計上しております長期貸付金及び長期未収入金の早期回収を図ります。

(3) 事業の進捗状況及び今後の見通し並びにその前提条件

① トータルソリューション事業の収益基盤の強化

当社グループは、コンサルティングからシステム開発、保守といったトータルなソリューション事業を展開しており、永く安定的な収益の基盤となっております。当該事業の収益基盤を強化し、次の時代の軸となるビジネスを創り上げるため、最新のシステムの取り込みを図っており、2018年度からはオープンソースソフトウェアを活用した新たなビジネスの受注を開始しております。現在、受注件数は増加していることから、これに対応できる人材の確保と社員研修を強化することで、収益基盤の強化を図ってまいります。

② 外部人材リソースの活用と社内人材の育成等

当社人材リソースのみでは限りがあるため、人材供給パートナー企業の増強を図ってまいります。また、グループ内人材の育成を計画的に行い、開発スキルの向上を図り、付加価値の高いシステム開発の受注に繋げることで、業績の改善に努めてまいります。

③ 売上原価率の改善

当社は、これまで培ってきたIT活用による提携企業へのコンサルティング機能をさらに高め、トータルソリューションを提供するという方針を維持しつつ、引き続き業務効率の改善や先進的な技術の活用、パートナー企業との連携強化等を通じて売上原価の抑制に努め、収益率の改善に注力いたします。

④ 長期貸付金及び長期未収入金の回収

回収が延滞しておりました長期貸付金及び長期未収入金について、全額貸倒引当金計上しておりますが、具体的な返済計画が示されたことにより、その回収を進めてまいります。

2. 今後の業績予想及び今後の実績目標

当社は、株式会社北栄(以下「北栄社」という。)に対し、2019年3月期連結会計年度の末日において、399,375千円の貸付けを行っております。また、過年度に計上しておりました同社への売掛金等の98,679千円が長期未収入金となっており、これらの全額を貸倒引当金として特別損失に計上しております。

今後の業績予想につきましては、北栄社の業績回復による、新たに発生するコンサルティング売上と貸倒引当金計上した長期貸付金及び長期未収入金の回収状況が著しく影響いたします。

北栄社は、沖縄県において海砂の採取、販売を行っておりますが、大規模な埋立工事が予定されていることから、船舶の増設等により同社の業績が大幅に改善される見込みとなっております。

しかしながら、その開始時期や北栄社が担う海砂供給量など未確定な事項も多く、現時点でこれを数値化してお示しすることが困難な状況となっております。

今後、これらの状況が明らかになった際には、その内容を速やかにお知らせするとともに、2020年3月期業績予想の修正並びに2021年3月期及び2022年3月期の実績目標をお知らせいたします。

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期
売上高	702	774
経常利益又は経常損失(△)	△56	△1
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△156	34

今後M&A等によりグループ企業を拡大することにより、売上高、経常利益の増大をめざしてまいります。本目標には算入しておりません。なお、北栄社より、2020年3月期に貸倒引当金を計上している長期貸付金及び長期未収入金の一部を回収し特別利益を計上する前提で、目標数値を設定しております。

以上